

# 駐日フィンランド大使講演会

令和4年6月8日（水）に「フィンランド ―自然と幸せの国―」と題して、駐日フィンランド大使ペッカ・オルパナ氏をお招きし、講演をしていただきました。内容は国と政府・社会と経済・地理と気候・幸福度・教育・ソーシャルイノベーション・文化などについて、フィンランドという国について詳しく深く知り、日本についても見直すきっかけになる内容でした。事前学習として、生徒はフィンランド関連の新聞記事を読んだり、自分なりにフィンランドについて調べたり、質問を考えました。



講演するペッカ・オルパナ氏



お礼の言葉と花束贈呈

## 《生徒の感想から一部抜粋》

環境のことを改めて考えようと思った。日本は、そんなに男女関係の差がないと思っていたけれど、フィンランドの男女の差がほとんどないということを知った時に、日本もフィンランドを見習うべきだと少し思った。日本ではまだ、男女の差が激しいのだと思った。（中1）

難しい話や質問もあったけど、フィンランドの地域・学校・自然・文化などについて詳しく知ることができて、とてもいい経験になりました。今までフィンランドについてあまり詳しく知らなかったけど、今回の講演会を通して、少しフィンランドについての知識を得ることができました！（中1）

日本とは違う文化や価値観、政治のあり方などをこの講演会で知り、自分の考えを深めることが出来ました。とても面白かったです。（中2）

フィンランドの歴史や、教育制度、国の方針などが知れてフィンランドに対しての理解が深まった。また、環境問題や性別の問題にも立ち向かっていてすごいと思った。（中2）

初めは税金が多いのはちょっと、とってしまっていました。学校が大学卒業まで誰でもただであったり、子育てを始めるお母さんが支援パックを選べたりなどのフィンランドの人を想っての事なのだを知り、とても感動しました。私は海外にまだ行った事がないですが、いつか海外に行く機会があれば是非フィンランドに行ってみたいと思いました。（中3）

日本とは違い大統領に女性が就任したことに驚いた。また、フィンランドの幸福度が5年間1位なのは社会への信頼性をはじめとする様々な事柄が深く関係していることが分かった。自分自身、他国のことを（日本も）あまり知らなかったのが、良い学びになったと思う。（中3）

森林の多さや教育方法など、日本とフィンランドの似ているところや異なるところを知ることができてとても勉強になりました。フィンランドの教育は暗記よりも自分で考えることが大事だという考え方があり、学ぶことを学ぶということを大切にしていると聞いて、フィンランドの教育について興味を持ちました。また、宿題をださずに遊ぶ時間を設け、自由な考え方をできるようにすると言う話を聞いてとても驚きました。フィンランドについてまだまだ知らないことが沢山あるので、興味を持ったことについて調べてみようと思います。（高1）

日本に今までいてこれほどまでに移住したいと思ったことはなかった。フィンランドでは大学まで無償で行けるし、育児パッケージなどの社会保障も充実していて本当にすごいと思った。日本はフィンランドとは違って集めた税を何に使っているかよくわからないので、そこを改善したほうが良いと思った。あとムーミンが可愛い。（高1）

フィンランドでは連立議員、五党全ての代表が女性だというお話を聞いて日本よりも男女同権が進んでいることにとても驚きました。そして、女性が代表を務めている間にも子供を出産していたりなど、女性に対する差別がないことを知ることができて、日本でもこのように女性が子育てや出産をしながらも仕事ができるようになればいいなと思いました。また、幸福度が5年連続で1番であるということや、教育が小学校から大学まで無償であることなど日本と違った面を今回の講演の中でたくさん発見することができて、フィンランドについてさらに興味が湧きました。（高2）

今回の大使の話を知り、フィンランドの魅力や国民性などを知れて自分でも元々あった北欧への憧れがより強まり、将来フィンランドを訪れてみたいと思いました。ただ、残念だった点はフィンランド大使だからこそ出来る話を聞きたかったのと思いました。（高2）